

## 1.燃焼特性

表1 燃焼性状

項目	特性値
引火点	345℃
発火点	490℃
発生熱量	9500kcal

出典:「酸素指数方式による燃焼性試験について」プラスチックマテリアル、1970  
 \*引火点は残存する発泡剤の量によって変わることがあります。

表2 燃焼生成物

EPSは、急性毒性をもったシアン化水素・塩化水素を発生しません。

プラスチックの種類	CO <sub>2</sub> (vol%)	CO (vol%)	HC ℓ (mg/g)	HCN (mg/g)	O <sub>2</sub> (vol%)
ポリカーボネート	0.196	0.016			0.270
ポリ塩化ビニル	0.038	0.013	187.5		0.107
難燃性ポリ塩化ビニル	0.027	0.019	120.0		0.103
ポリスチレン	0.336	0.022			0.521
発泡PS (EPS)	0.102	0.028			0.253
ナイロン	0.278	0.010		39.0	0.310
ポリエチレン	0.342	0.018			0.441
ポリウレタン	0.143	0.009		1.8	0.799
難燃性ポリウレタン	0.188	0.023		1.5	0.240
ポリプロピレン	0.338	0.020			0.168
ユリア樹脂	0.128	0.001			0.151
フェノール樹脂	0.159	0.017			0.205

出典:「産業安全に関する研究成果集 第1集」、古屋(1980)

■本資料に関するお問い合わせは

発泡スチロール協会・EPS 建材推進部

TEL.03-3861-9046 FAX.03-3861-0096